

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英会話(advanced)	NLA12_003	選択	1	1・2・3・4	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
風間 絢日	415	ayaka.kazama			
授業の目的・概要	適切に英語でコミュニケーションをとるためには状況に応じた表現を使う必要がある。本講義ではシミュレーションや目的に応じた表現や会話方法を習得することを目指す。具体的に会話を成立させ、目的を果たすための実践的な英会話力の養成を目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	コミュニケーション力の向上のためには実際に会話をすることが重要となる。授業に積極的に参加することはもちろん、クラス外でも意識的に英語を使うことで英会話力をつけることができる。				
教科書	Communication Strategies for Independent English Users/著:Keiso Tatsukawa, Joe Lauer, Goro Yamamoto/英宝社/2017				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	積極的に英語でコミュニケーションをとる態度を身につけている。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
②	適切に英語で会話をはじめることができる。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
③	スムーズに英語で会話を続けることができる。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
④	英語でのコミュニケーションにおいて主導権を持つことができる。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
⑤	自分の望む流れで英語での会話を進めることができる。		HSU(2)(5)(6).NS(2)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンス	講義	学習目標を確認し、教科書Unit 1を予習する。	1	
2	Unit 1:会話を始める	講義	教科書Unit 1の復習をしUnit 2の予習をする。	1	
3	Unit 2:発言権を得る	講義	教科書Unit 2の復習をしUnit 3の予習をする。	1	
4	Unit 3:会話を継続する	講義	教科書Unit 3の復習をしUnit 4の予習をする。	1	
5	Unit 4:話題を提起する	講義	教科書Unit 4の復習をしUnit 5の予習をする。	1	
6	Unit 5:話題を変える	講義	教科書Unit 5の復習をしUnit 6の予習をする。	1	
7	Unit 6:もう一度たずねる	講義	教科書Unit 1からUnit 6の復習をする。	1	
8	Unit 1からUnit 6までのまとめと復習	講義	教科書Unit 1からUnit 6を振り返りUnit 7の予習をする。	1	
9	Unit 7:詳しくたずねる	講義	教科書Unit 7の復習をしUnit 8の予習をする。	1	
10	Unit 8:相手に確認する	講義	教科書Unit 8の復習をしUnit 9の予習をする。	1	
11	Unit 9:相手をささげる	講義	教科書Unit 9の復習をしUnit 10の予習をする。	1	
12	Unit 10:少し待ってもらおう	講義	教科書Unit 10の復習をしUnit 11の予習をする。	1	
13	Unit 11:沈黙を避ける	講義	教科書Unit 11の復習をしUnit 12の予習をする。	1	
14	Unit 12:会話を終える	講義	教科書Unit 7からUnit 12の復習をする。	1	
15	Unit 7からUnit 12までのまとめと復習	講義	教科書Unit 7からUnit 12の振り返りを中心に全Unitを復習する。	1	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		30	0	30	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	10	0	10	0	10	30
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	0	10	0	0	20
	コミュニケーション力	10	0	10	0	10	30
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	学期末に英語でのコミュニケーション力をはかる試験を行い授業で学習したコミュニケーションスキルや語彙、表現が使いこなせているか総合的に評価を行う。	試験の評価			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
成果発表	①	✓	授業中に各回のテーマに沿ったロールプレイを行い、授業中に学習したコミュニケーション技術や語彙、表現などが使いこなせているか総合的に評価を行う。	授業内の教員によるコメントおよび助言			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	単に出席するだけでなく、積極的に授業に臨む姿勢が求められる。授業中の態度や参加度も評価の対象となる。	授業内の教員によるコメントおよび助言			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	カナダの大学にて学位取得、タイの大学の英語プログラムにて修士過程を修了した後、外国人患者を多く受け入れるタイの私立総合病院にて8年間勤務し、医療コーディネーション業務などを行う。日本帰国後は大学にて語学試験対策や英語学習の指導などに従事するとともに医療通訳者の育成・普及活動に携わる。						
実践的授業の内容	英語教授と海外での経験を活かし、まずは英語で会話してみようという積極的な態度を身につけ、英語でコミュニケーションにおいて自分の望む流れで会話を進められる能力が身につくような授業を目指した講義を実施する。						
その他	英語によるコミュニケーションへの積極性や授業への参加度も評価の対象となるため、授業を欠席した日の評価は0点になる。教室内でのスマートフォンやアプリの使用は禁止する。実際のコミュニケーションを重視する授業形態をとるため、感染症の拡大を防ぐ目的でマスク着用を求めるなどの感染症対策措置が求められる場合がある。						